

名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造 ・ 階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼 損 面 積 延 面 積)	死 傷 者
貴悦ビル	複合用途 (16)イ	昭和51年1月10日	耐火 Ⅱ	全・半・④小	死者 1名
		出火0時10分ころ 覚知0時14分 覚知別報知電話 鎮火2時01分	建 124.1m ² 延 934.6m ²	100m ² (10.6%)	傷者 12名 (0)
港区新橋3の21～9					

I 火災概要							
① 概 要	深夜、3階から出火し、3階部分100m ² を焼損し、4,5階にいたトルコ従業員と客13名が逃げおくれ、消防隊により救出されたが、死者1名、傷者12名が発生する惨事となった。この火災は、パイプダクトスペースの区画が不備であったため、煙が急速に上階へ流れたことと、自動火災報知設備のベルが停止されていたこと、窓には鉄格子があった等、消防上問題があった。						
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等 消防用設備等
	6	88.07		更衣室			避難器具 縄梯子 ③ 内1～6F ④ 自 誘
	5	101.04		トルコ風呂	11	1	
	4	125.0		”	14		
	③	124.1	100	倉庫			
	2	”		キャバレー			
	1	”		”			
	B1	”		事務室	6		
	B2	”		機械室, 調理室			
	合計	934.61	100		31	1	
③ 出 火 場 所	(階, 室, 部位, 可燃物状況, 居室・非居室, 在・不在) 3階倉庫内出入口付近から出火 出火階は、昭和48年5月頃から以前店舗として使用していた椅子、テーブル等の廃品を積み重ね、倉庫として使用していた。出火箇所は、避難階段に面した施錠していない出入口付近の倉庫内であった。				④ 出 火 原 因	不 明 3階倉庫出入口付近に積み重ねた廃品の机に放火した可能性が最も強いと思われるが、放火と判定できる資料がなく、断定できない。	

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<p>(出火部位) (出火室の拡大)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3階倉庫内 出入口付近</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">倉庫内の廃品 の机と椅子</div> </div>	
	<p>火災は、3階倉庫を焼損しただけであったが、煙が上層階へ急速に充満したため、避難路を断たれる結果となった。3階出火階のベニヤ合板の天井が焼け抜け、この部分から天井を経て、パイプスペース内に流入し、4階以上の各階のスラブとスレート板天井の間に流れ込み、天井の空調ダクトの点検口や一部スラブの露出していると思われる部分から室内や廊下に流入拡散した。また3階と4階の間のスラブ貫通部の間隙から上昇し、近くに設置してある送風機に吸入された空調ダクトを通じて、4階の各浴室や廊下の送風口から噴出した。その他に避難階段防火戸の周囲間隙から階段室へ流出したのと、5階、6階へは、4階から通じている防火区画のない屋内階段から大量に流れ込んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 延焼拡大した主な理由 <ul style="list-style-type: none"> ○ 椅子、テーブルの廃品が多量に収納されていた。 ○ 有効な初期消火が行われなかった。 ○ 煙の伝播経路 <ul style="list-style-type: none"> ○ パイプスペースの区画不完全箇所 ○ 排気ダクトの貫通部間隙 ○ 避難階段の防火戸周囲間隙 ○ 防火区画のない部分階段 	
II 火災建物概要		
① 建築	<p>着工・竣工又は主たる改築等 使用検査以降、用途変更等3回行っている。 (建築) 昭和37年6月11日 (使用) 昭和39年7月8日</p>	
管 理 状 況	② 豎 穴 の 状 況	③ 防 火 管 理 状 況
	<p>階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input checked="" type="checkbox"/> エレベーター <input checked="" type="checkbox"/> パイプシャフト <input checked="" type="checkbox"/> エスカレータ <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パイプスペースの区画が不完全 ○ ダクトスペースの床貫通部の埋戻し不完全 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防火管理者未選任 ○ 事情変更に伴う消防計画未作成未提出 ○ 共同防火管理協議事項等届出済 ○ 階段防火戸自動閉鎖機能不良 ○ 避難器具未設置(4, 5階) ○ 階段敷物防炎処理未実施 ○ 消防用設備等点検未実施
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等	⑤ 消 防 用 設 備 等
	<p>避難階段の3, 4階防火戸の周囲に間隙があった。 (煙が流入する結果となった)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動火災報知設備は、3階無人の室に設置してあったうえ、ベル停止となっていた。 ○ 1, 2階の内栓起動マグネットスイッチ不良。 ○ 4階に設置してあった避難器具が屋上出入口に放置してあった。

III 火災後の行動		
① 発 見 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発見者 (従業員) ○ 発見の動機 (煙) ○ 発見後の行動 (避難階段で避難する) 	
	<p>トルコ経理部長(51才)が4階カウンターに、副支配人と2人でいたとき、避難階段の方から煙がはいってきた。このとき応接室には、入浴待ちの客3名がいた。そのうち照明の電気が消えたが、エレベーターは動いていたようで、応接室に居た3人の客は、エレベーターで避難したようだった。避難階段から1階に降りたとき、キャバレーの営業部長と会い「3階が火事だと知らされた。」と供述していることから、4階部分において最初に煙を発見し、異常を認知したものと思われるが、火点階からの煙の噴出等具体的な状況は見えていない。</p>	
② 通 報 状 況	<p>通 報 した <input type="checkbox"/> () 出火後約(4)分 しない <input checked="" type="checkbox"/></p>	
	<p>出火建物の南側道路をへだてたビル1階にある喫茶店の経営者(31才)が、カウンターにいたとき、店内に煙がはいってきたので変に思い、ボーイを表に見にやらせた。戻ってきたボーイが貴悦ビルから煙が出ていると報告してきたので、店の電話で通報した。</p>	
③ 初 期 消 火 状 況	<p>成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>消火した</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> 	<p>(理由又は状況)</p> <p>交番で勤務中の巡査2名が、表の騒々しさに火災に気付き、避難階段から燃えている3階に昇り、ドアを開けようとしたが開かなかった。急いで1階に降りて屋内消火栓のホースを3階まで延長したが、水圧がなく消火には効果がなかった。そこでさらに2階の屋内消火栓からホースを延長したが、1階と同様水が出なかった。そのほか初期消火行動は行われていない。</p>
	<p>消火しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> ○ その他 <input type="checkbox"/> 	
④ 消 火 活 動 概 要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 建物周囲に設けた装飾用鉄格子が消防活動の著しい障害となった。 ○ 救助活動に活用できる唯一の屋内階段が狭く、しかも要救助者が多数であったため、救助活動に混乱を生じた。 	

	避難方法	避難上支障事項									
⑤ 避難状況	<ul style="list-style-type: none"> ○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (15人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input checked="" type="checkbox"/> (3人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> (人) ○救助 <input checked="" type="checkbox"/> (13人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> 									
⑥ 死者の状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">健康人 1名</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">避難上支障となった事項</td> </tr> <tr> <td>(泥酔者 名)</td> </tr> <tr> <td>要保護者 名</td> </tr> <tr> <td>乳幼児 名</td> </tr> <tr> <td>高齢者 名</td> </tr> <tr> <td>身体不自由者 名</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> (停電) </td> </tr> <tr> <td>病人 名</td> </tr> </table>	健康人 1名	避難上支障となった事項	(泥酔者 名)	要保護者 名	乳幼児 名	高齢者 名	身体不自由者 名	<ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> (停電) 	病人 名	<p>4階のトルコ室、4室には各々トルコ嬢と客が1名ずつおり、他に従業員2名と客3名トルコ嬢1名の計14名がいた。避難方法は①避難階段を使った者(従業員1名,トルコ嬢3名,客1名)。②ELVを使った者(客3名)。③屋上へ避難して救助された者(従業員1名)。④室内でじっとして救助待った者(客1名)。⑤避難中煙で失心し救助された者(トルコ嬢1名,客2名)。⑥5階の自分の部屋へ戻り避難中他の部屋へまぎれこみじっとして救助を待った者(トルコ嬢1名)。5階の5室には各々トルコ嬢と客が1名ずつおり、他の1室には、客のみ1名の計11名がいた。避難方法は①避難階段(トルコ嬢2名,客2名)。②屋上へ避難して救助される(トルコ嬢2名)。③避難中煙で失心し救助される(トルコ嬢2名)。④ベランダ避難救助される(客2名)。⑤他の部屋へまぎれこみじっとして救助待つ(トルコ嬢1名)。</p>
健康人 1名	避難上支障となった事項										
(泥酔者 名)											
要保護者 名											
乳幼児 名											
高齢者 名											
身体不自由者 名	<ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> (停電) 										
病人 名											
IV 問題点・教訓等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自動火災報知設備がベル停止されていたうえ、建物内部の第一発見者が火災を知らせず個人行動をとったことと、浴室が個室のため外部の異状に気付くのが遅れたため多数の死傷者をだす要因となった。 2. 避難階段が1箇所しかなく、しかもこれが煙道となった。 3. 避難誘導すべきトルコ嬢達が建物に精通していなかった(屋上へ通ずる出入口さえ判っていなかった)。 4. 客のほとんどが酒に酔っていたため行動が緩慢であった。 5. 建物周囲に設けた装飾用鉄格子が消防活動及び避難に著しい障害となった。 6. 空調用ダクトの床貫通部の埋戻し及び給排水管用パイプシャフトの防火措置の不備から煙が伝播し、避難行動を妨げた。 										





